

また、ポスト設置当初より、終始変わらずに御指導をいただき、さらに、今回のフォールアウトに関しても早速に情報の提供をいただいた理化学研究所の岡野真治博士に深く感謝する。

さらに御多忙中にもかかわらず、御校閲と有意義な御意見を下さった気象研究所地球化学研究部の葛城幸雄氏に対し心から謝意を表する。

文 献

今井俊男, 本多 正, 1971: モニタリングポストに

よる空間線量 (γ 線) の変動調査, 第13回放射能調査研究成果発表会論文抄録集, 19-22.

Kellogg, W. W., 1956: Atomic cloud height as a function of yield and meteorology, USAEC Report AECU, -3403.

村山信彦, 1963: 大気自然放射能の連続測定 (第1報), 研究時報, 15, 1-13.

長井達夫, 本多 正, 上野秀夫, 1970: モニタリングポストによる空間線量率 (γ 線) の測定結果の統計的考察 (1), 第12回放射能調査研究成果発表会論文抄録集, 21-24.

気象学会および関連学会行事予定

行 事 名	開 催 年 月 日	主 催 団 体 等	場 所
第21回 山の気象シンポジウム	昭和52年6月18日	日本気象学会	気象庁 第1会議室
第14回 理工学における同位元素研究発表会	昭和52年6月29日 ～7月1日		国立教育会館
第11回 夏季大学「新しい気象学」教室	昭和52年7月26日～29日	日本気象学会	気象庁講堂
第14回 自然災害科学総合シンポジウム	昭和52年8月29日～30日		北海道大学工学部
昭和52年度 日本気象学会秋季大会	昭和52年10月4日～6日	日本気象学会	札幌市教育文化会館
第24回 風に関するシンポジウム	昭和52年11月11日		日大生産工学部 (習志野校舎)